

## 施策評価調書(27年度実績)

施策コード I-2-(3)

政策体系	施策名	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画頁	43
	政策名	健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～	関係部局名	福祉保健部、商工労働部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	生きがいつくりや社会参画の促進	安心して暮らせる基盤づくりの推進	認知症施策の推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	65歳以上のボランティア活動参加者数(人)	①	H26 18,173	18,400	18,645	101.3%	19,200	20,000						
ii	要介護認定を受けていない高齢者割合の全国順位(位)	②	H26 24	21	17	114.8%	11	全国 トップレベル						

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	ボランティア新規登録者に対し各種研修を実施し、実際の活動へ円滑に移行できるよう支援した結果、目標値を達成した。	達成
ii	達成	理学療法士等多職種が協働する地域ケア会議の促進などにより自立支援型ケアマネジメントを推進し、また通所介護事業所の職員に対する研修会の開催など介護予防の取組の強化等を実施したことにより、目標値を達成した。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊の国ねりんピックの開催により、高齢者の社会参加促進、生きがいの高揚が図られた。(参加者数5,970人)</li> <li>・元気な高齢者が高齢者を支える担い手となるための「アクティブシニア養成講座」を開催(56名受講)し、高齢者の社会参加を促進した。</li> <li>・シルバー人材センターの受注件数は39,149件</li> <li>・70歳以上までの継続雇用制度導入割合は21.5%(前年比0.9ポイント増加)</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおいた高齢者いきいきプランや各市町村の計画に基づき、小規模老人保健施設、定期巡回・随時対応サービスを各1カ所整備し、介護サービス基盤の充実を図った。</li> <li>・地域ケア会議活性化のため市町村に講師を派遣(延べ28回)したほか、自立支援型ケア普及のため、地域包括支援センターへのリハ職等派遣を行い、地域包括ケアシステムの構築を推進した。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症施策プロデュース委員会を開催(6回)し、大分認知症フォーラムの企画実施など、行政、医療、介護及び民間企業関係者による認知症施策の総合的な推進を図った。</li> <li>・大分オレンジドクター(かかりつけ認知症専門医)の養成(H27:45名、計407名)や、一般病院医療従事者向け対応力向上研修等を実施し、認知症の人への支援体制の強化を図った。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	はつらつ高齢者地域活動チャレンジ事業	23,360	A	終了	55
②	地域包括ケアシステム構築推進事業	29,505	A	継続・見直し	56
③	市町村認知症施策強化推進事業	10,644	A	継続・見直し	57

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県老人福祉計画策定協議会(H27.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護と医療の連携を進めてほしい。</li> <li>・地域包括ケアシステム構築の要となる地域包括支援センターの機能強化が必要。</li> <li>・認知症疾患医療センターや認知症初期集中支援チームの連携が必要。</li> </ul>	<p>○平成27年度大分県高齢者福祉施策推進協議会(H27.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねりんピックにより多くの高齢者が参加できるよう、特に全国のねりんピックでは、参加経費がネックにならないよう努力してほしい。</li> </ul>
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢期を健康で豊かに過ごすことができるよう、豊の国ねりんピックの趣旨を県民等へ広く周知し、引き続き文化部門・スポーツ部門への参加を促す。</li> <li>・高齢者の豊かな知識や経験、技術を生かした地域活動を促進するため、「ふるさとの達人」の掘り起こしを引き続き行うとともに、介護補助や生活支援サービス事業を立ち上げる高齢者の団体に対する助成などにより、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える体制の構築を推進する。</li> <li>・シニア雇用推進オフィスを開設し、高齢者労働力の重要性の啓発等を行い、高齢者の能力や体力に応じた多様なシニア雇用を推進する。</li> <li>・地域ケア会議への医師の参加やリハビリ専門職の派遣ニーズに対応するための体制づくりにより在宅医療・介護連携をさらに推進するなど、高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、地域包括ケアシステムの構築を引き続き推進する。</li> <li>・ケアマネジメントを担う介護支援専門員を対象に、本県独自の研修を実施することにより、自立支援型ケアマネジメントの推進を図る。</li> <li>・認知症施策プロデュース委員会を開催し、市町村・関係機関及び民間企業が連携して、普及啓発等の実践可能な取組についての情報共有を図るとともに、認知症の早期診断・早期対応による重症化予防、容態に応じて適切に医療と介護が提供される体制づくり等、地域での生活を支える体制を整備する。</li> </ul>